

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。



秋本直嗣議員

Q: 市公式SNSの更なる活用を

A: 重要性は認識している。各SNSの特性を活かし、効果的に発信していく。

庁舎内の通信環境について

秋本 庁舎内で通信機器利用時、電波不良により屋外で電話をする市民が見受けられる現状を憂慮する。キャリア間の電波状況のばらつきと建物構造が要因と推察されるが、現状認識と今後の改善策について伺いたい。特に、Wi-Fi環境は市民の多様な通信手段として重要であり、「GOJOOFREEWi-Fi」の現状と、繋がりにくいという声に対する具体的な改善策、エリア拡大やアクセスポイント増設の計画について伺う。

総務部長 庁舎内の電波状況については、キャリアによる差異と建物構造による影響を認識しており、キャリアへの改善要望を行う。「GOJOOFREEWi-Fi」

五條市公式SNSの活用について

「i-Fi」は1階の一部に設置しているが、繋がりにくいと声を踏まえ、エリア拡大やアクセスポイント増設を含めた利用環境の早期改善に向け、技術面・財務面の課題を検討しつつ取り組む。

秋本 情報発信において即効性・拡散性の高いSNSの活用は不可欠であり、現在の活用状況について伺う。特に、視覚的な情報発信に有効なYouTubeの更新頻度が低い要因と、今後の活用方針について伺いたい。

市長公室長 現在、LINE、Instagram、Facebook、YouTube、X(旧Twitter)の5種類を運用しており、特にInstagramでは会

計年度任用職員を雇用し積極的に情報発信している。YouTubeは有効な媒体と認識しているものの、動画作成に時間と労力を要するため、現状では十分な活用に至っていない。

秋本 Instagramをはじめとする既存SNSの更なる活用と、全庁的な情報発信体制の強化に向けた市長の見解を伺う。

市長 広報誌とHPを情報発信の主軸としつつ、SNSの重要性を認識しており、就任当初よりYouTubeなどのコンテンツ充実を検討している。今後、各SNSの特性を活かし、即効性・拡散性を最大限に引き出し、市の魅力を効果的に発信していく。全庁的な連携を強化し、情報発信体制の充実を図る。

空き家を活用したペット共生型賃貸について

秋本 五條市の空き家問題に対し、新たな視点として

ペット共生型賃貸の導入を提案する。ペット可賃貸とは異なり、ペットとの暮らしを前提とした設備や条件設定が特徴だが、本市の空き家状況と空き家バンクの現状について伺う。ペット共生型賃貸導入の可能性と、移住定住促進への効果、実現に向けた課題と今後の研究について伺いたい。

都市整備部長 市内の空き家は1,166件であり、「空き家バンク」を通じて情報提供を行っており、令和6年度は利用者57件、登録4件、成約2件となっている。ペット共生型賃貸の導入は、空き家所有者の意向が重要となるが、協力が得られれば可能と考える。

秋本 空き家の有効活用と新たな魅力創出、移住定住促進の観点からも、ペット共生型賃貸の実現に向けた研究を強く要望する。



Q：地域手当の率について

A：五條市でも導入し、4%とする。



吉田雅範議員

災害用のトイレについて

て

現在の保管場所について

て

吉田 以前購入した、災害用トイレの保管場所について尋ねる。

都市整備部長 現在、災害用トイレは、吉野川堤防の大川橋北詰付近に令和7年2月21日設置し、使用開始に向け準備している。

吉田 2024年1月1日16時10分に石川県能登地方において震度7の地震が発生した。

五條市民の税金で購入した災害用のトイレを直ちに被災地に送ったが、その後広報誌等でアピールしているのか尋ねる。

都市整備部 4月の広報に掲載するように準備を進めている。

避難場所としての小・中学校体育館について

(1) エアコンの設置について

吉田 小・中学校体育館へのエアコン設置はどのように考えているか。

教育部長 災害時には避難場所としての役割を果たすことから、エアコンの設置は必要であると考えている。

吉田 エアコンには、電気やLPガスの種類があるが、どのようなエアコンの設置を考えているか。

教育部長 災害時における避難場所としての役割もあることから、危機統括室と協議しながら研究してまい

る。

(2) 災害時の炊き出しについて

吉田 災害時における炊き出しの考え方について尋ねる。

危機管理監 備蓄品と炊き出し等の温かい食べ物を、並行しながら被災者に提供する計画となっている。

令和7年度には、炊き出し用の調理機を購入予定で

ある。

新町重伝建地区の防災について

(1) 消火栓と防火水槽の数について

吉田 新町重伝建地区の消火栓と防火水槽の数について尋ねる。

教育部長 消火栓は17、防火水槽は、40tが2、100tが1、整備されている。

吉田 重伝建地区には、防火水槽がもっと必要ではないか。

教育部長 4基整備する計画となっており、現在3基を整備済みで、1基は未整備となっている。

吉田 防火水槽の新設について、危機管理部局の考えを尋ねる。



危機管理監 未整備の1基の設置場所、規模等について調査・研究してまいる。

吉田 防火水槽の設置場所について、観光の駐車場と避難場所とを兼ねた場所が必要であると考えているかどうか。

教育部長 重伝建地区の来訪者用の駐車場は、十分な台数が確保できない状況である。危機管理及び観光部局と連携してまいる。

(2) 防災計画について

吉田 重伝建地区の防災計画をしているか。計画に沿って災害対策を進めると、国から補助金が交付される。

教育部長 平成25年に策定している。

その他の一般質問

◆土に学び、土で育つ教育方針について

①農業の担い手について

◆地域手当について

①手当の率について

Q：防災拠点整備の受入れ体制について

A：全庁的な連絡会議を行い取り組んでいく。



窪 佳秀議員

防災拠点整備発表に伴う市の受入れ体制について

窪 受入れ体制の窓口について伺う。

危機管理監 危機管理課防災拠点対策室である。

窪 県や市民からの窓口が重要になってくる。組織の拡充を行い、防災拠点整備準備室となるような部署について伺う。

市長公室長 防災拠点整備の案件は重要である。人員配置を踏まえ適切に対応して行く。

危機管理監 全庁的な連絡会議等を行い対応していく。

窪 県の発表では消防学校の移転も考えている。また、今年度の県予算で防災ヘリの更新も発表されていた。



防災ヘリの基地も併せて誘致してはどうか。県への要望について伺う。

危機管理監 消防学校が移転・整備されれば経済的効果は非常に大きい。防災ヘリの基地の誘致は市の活性化に大変有効である。地元と調整しながら要望していく。

市長 奈良県南部中核拠点として紀伊半島全体をカバーできることを期待している。将来のまちづくりを見据え五條西インター、国道168号アクセス道路、JR新駅等も含め検討する。

上下水道配管の点検について

窪 下水道の点検について伺う。

都市整備部長 下水道管路管理マニュアルに基づき自走式テレビ付きカメラを挿入し点検している。措置を講ずるような下水道管は確認されていない。点検は5

年に1回の頻度で義務付けられている。

窪 水道管の点検について伺う。

水道局長 毎年、配水管の漏水調査を計画的に地域ごとに実施している。令和4年度33件、令和5年度は21件の漏水箇所を発見し修理を行った。地中埋設管の点検のサイクル等は示されていない。

窪 県の流域下水道管の点検について伺う。

都市整備部長 県からの報告では異常は無いとのことである。

高齢者の入浴中における事故への対策について

窪 一人暮らしの高齢者等の入浴中の事故対策について伺う。

あんしん福祉部長 入浴中の事故対策には特化して取り組んでいない。見守りは、配食サービスによる安否確認、緊急通報システム貸与事業で実施している。

窪 高齢者の入浴中の死亡事故は、交通事故死の約2倍である。予防対策等を啓発していただきたい。

あんしん福祉部長 入浴中の事故が多発していることから、家庭での入浴習慣の見直しや、広報、ホームページ、介護予防教室等で周知、啓発していく。

窪 現在、住宅メーカー、浴槽メーカーが事故防止対策を考えている。また、緊急通報装置のペンダントの活用についても検討していただきたい。

あんしん福祉部長 ペンダントについては日常防水対応であるが浴室内は推奨されていない。今後改良されるかもしれないので注視していく。

市長 近年ICT技術の進歩により、高齢者の安全対策事業にも活用できることが多くなっている。事故防止対策の提供を調査・研究していく。

Q: ペットボトルキャップ・使い捨てカイロの 分別回収をお願いする

A: 庁舎等への回収ボックス設置に向け、
検討してまいる。

山口耕司議員



資源循環型社会構築に 向けて

(1) 廃食油の利活用に ついて

山口 以前、五條市衛生美化協会が中心となって、廃食油の回収やその啓発を行っていた。

回収状況と、再利用について伺う。

産業環境部長 令和5年度では、4,398Lを回収し、1L当たり0.03円で業者に売却し、その後、バイオディーゼル燃料として利用されていると聞いている。

山口 現在、廃食油の回収からSAFを製造し、従来の航空燃料よりも二酸化炭素(CO2)排出量を8割削減でき、国際的にも需要が高まっている。

今後、積極的に、市民の皆様や給食センターにお願いし、回収にあたっていたきたい。

(2) ペットボトルキャ ップ回収について

山口 ペットボトルの本体

は、自治体が回収し、再資源化が求められているが、キャップの回収義務は自治体にはない。しかし、キャップのみを分別回収し資源として、ワクチンに、との取組が進められているが、今後の取組について伺う。

産業環境部長 市民に広く周知する必要があるが、市庁舎等にキャップ回収ボックス等の設置を検討してまいる。

(3) 使用済み使い捨て カイロの回収について

山口 田原本町では、一般家庭で使用された使い捨てカイロの収集を行い、水をきれいに变える活動を行っている会社へ送付している。本市においても実施されはと考える。

産業環境部長 ペットボトルキャップ回収と同様に回収ボックス等の設置を検討してまいる。

地域の絆を強める自治 会活動の支援について

山口 私の住んでいる田園地区では年々加入者が減少

し続けている。加入の状況について伺う。

総務部長 令和7年1月現在、加入世帯は7,967、加入率は59.1%。令和4年度から今年度までに9自治会が高齢化、世帯数減等の理由で解散している。

山口 自



治会は、地域の諸課題を解決し、安心で安全な暮らしや、住みやすいまちづくりを行うために組織された任意団体で、今後、市からの支援は必要不可欠と考える。

自治会の活性化や持続的な運営支援を目的とした、自治会長をフォロワーできる「ハンドブック」を作成してはどうか。

総務部長 活動方法等を記載したハンドブックは必要と思うので、調査・研究していきたい。

山口 普段は回覧情報や連

絡事項の提供ツールとして、災害時には安否確認ツールとして活用できる「地域交流アプリ」をモデル事業として実施してはどうか。

総務部長 自治会活動負担軽減を目的に取組んでいる自治体のアプリは認識している。諸課題を踏まえながら、引き続き、調査研究してまいる。

山口 自治会は諸問題を抱えている。会員の減少、今後の自治会について市長に見解を求める。

市長 高齢化に伴い自治会が解散している事は認識している。

自治会ハンドブックや地域交流アプリは有効な手段の一つで一助となるよう調査研究をさせてまいる。自治会の重要性を市全体で共有できるよう、加入促進を図り、安心して暮らせるまちづくりを目指してまいりたい。

その他の一般質問

◆帯状疱疹ワクチンについて

Q: 自宅近くまで迎えに来てくれ目的地まで送ってくれる公共交通について

A: 関係者と知恵を出し合い、維持改善に取り組む。

大谷龍雄議員



年末に発生した上水道漏水事故の原因と防止対策及び下水道の漏水防止対策について

大谷 昨年12月21日未明、

犬飼町交差点において昭和58年に敷設した石綿セメント管に穴が開いて、相谷町、二見2丁目、二見3丁目、の約90戸が断水し、犬飼町が水压低下になり、迷惑と心配をおかけしたが、原因の調査では、耐用年数40年であったにもかかわらず、41年たっていた。このように40年の耐用年数を超えている石綿セメント管が令和5年末では33%敷設されている。予算が必要になるが、耐用年数を超えるまでに新しい水道管に換えていくべきではないか。

水道局長 水道配水管の漏れ調査を、本年度は野原地区と阿太地区を業務委託で実施中である。

下水道管の点検と漏水防止対策について

大谷 下水道管の点検は5

年に1度となっており、方法は、マンホールヘカメラを入れることと目視でやつてくれているが、奈良県の進捗率は17%であり、50%以上にならないれば正確なところはつかめないが、結果はどうであったのか。

都市整備部長 県の下水道も五條市の下水道も、現在のところ異常はない。耐用年数は材質を問わず50年である。



米価高騰対策と不足対策について

大谷 政府が減反を約50年

間農家に要求してきたことが大きな原因となっている。同時に米の輸入を行い、ミニマムアクセス米は約77万tも輸入している。効果的な対策としては、

●食料自給率を、現38%から50%に上げること

●生産コストに見合う価格保証と所得補償を行う

●新規就農者支援、指導者育成に取り組む

以上のことを政府に要請するべきではないか。

産業環境部長 国、県の農業施策の動向を注視しつつ、関係機関と連携し、必要な対策に取り組む。



公共交通アンケート結果で明らかにになった高齢者の要望に応える公共交通の充実について

大谷 アンケートは令和6

年10月頃に行ってくれたが、公共交通を使ったことがない理由として、時間や行先が合わないが15.5%、目的地まで時間がかかるが7.1%、利用方法がわからないが7.1%、運賃が高いが3.6%、自家用車で移動できるが約70%になっている。また、停留所が遠い、乗換えが不便の声もある。以上の問題を解決するには、自宅近くまで迎えに来てくれ目的地まで送ってくれる公共交通を、市民負担を軽減し民間業者の利益を保証する支援を行い運行することが、どうしても必要になるのではないか。

総務部長 地域の関係者と知恵を出し合い、地域公共交通の維持改善に取り組む。

Q: シダーアリーナと上野公園周辺の利便性向上を

A: 公園利用を中心とした利便性を図り、
新駅誘致を検討してまいる。



福塚 実議員

公私連携幼保連携型認定こども園のあり方について

福塚 今後、子供が減少すると予想されるなか、公私連携幼保連携型認定こども園への移行に伴い、法人事業者による運営となる。市民にとってのメリットはあるのか。

教育部長 認定こども園法に基づき、民間に完全に移管せず、市が運営に一定程度関与していく。また、保育教諭の処遇改善対策のため令和7年度から「五條市民間保育士等処遇改善事業補助金」を創設し、保育教諭の人材確保の支援も行う。さらに、認定こども園の公私連携により、国や県からの交付金を活用することが可能になり、全ての認定こども園に通っている子供の保育料を無償化でき、ひいては保護者の

負担軽減にもつながると考えられる。



障害者支援について

五條市のイベント参加状況について

福塚 障害者がより安全に来場できるように工夫し、自宅や各高齢者施設、障害者施設等にイベント情報を、また、ライブ配信等で気軽に家族や友人等で視聴できるサービスも考えていたいただきたいと思う。

産業環境部長 市としても、健常者、障害者を問わず、沢山の方々に楽しんでいただけるように配慮しながらイベント運営に取り組んでまいる。

奈良県災害応急対策について

(1) 地元住民との連携について

福塚 令和7年2月17日に、地元住民、市民、自治連合会、市議会議員、県議会議員、各種団体の参加のもとで奈良県知事から県の計画が示された。今後様々な課題や地元住民との連携が重要になってくる。市としての考えを伺う。

危機管理監 説明会では、奈良県災害応急対策基本構想(案)において五條県有地を県南部中核拠点に位置付ける整備方針が示された。また、現在宇陀市にある消防学校についても同様に、五條県有地に移転する事が公表された。今後、道路や水路等の要望事項や全体的なアクセス道路についても、地元住民と連携しながら県の事業に協力していく必要があると考える。

(2) 上野公園周辺の活用について

福塚 応急災害対策事業により、消防学校整備に向けたシダーアリーナと上野公園周辺も活用が見込まれる。令和7年度の予算の中でも新駅誘致の調査費が提出されており、上野公園周辺の利便性向上が期待される。今後の活用について、市長に伺う。

市長 上野公園周辺の活用については、公園利用を中心とした利便性を図るため新駅誘致を検討していく。今後もJRや奈良県と協議しながら利便性の向上を図ってまいる。



Q：高齢者の生活支援について

A：病院や買い物などの外出支援、ゴミ出しや草引きなど、地域での困りごとを話し合い、解決方法を模索する体制づくりを進める。

藤富美恵子議員



五條市史について

藤富 五條市史は、これまで昭和33年11月に山本米三市長が、そして、昭和62年10月、今田武市長の時に発行している。

今回、新五條市史の一部である「文学文芸編」を80冊発行した。完成予定と、今後どのような形態のものを発行するのか尋ねる。

教育部長 令和13年3月の完成を目指している。

今後、分野編として「考古編」、「建造物・美術工芸品編」、「民族編」、「地理環境編」の4冊。通史編として「原始・古代・中世」、「近世」、「近代・現代」の3冊。その他資料集等を、順次発行する予定である。

藤富 増刷予定と販売予定価格は。

教育部長 6月下旬を目途

に100冊程度増刷し、

1冊5千円程度を予定

している。



高齢者の生活支援について

(1) 買い物支援について

藤富 先日、すぐにでも利用できる買い物支援サービスとして、民間業者の買い物サービス実施店を紹介した冊子を作成し、自治会に回覧をしていただいた。

この冊子の作成、自治会に回覧に至った経緯について尋ねる。

市長公室長 買い物支援は、本市でも取り組むべき課題である。すぐに取り組めることとして、民間事業者の買い物支援サービスの取りまとめを行い、参考にしてもらえるよう自治会に回覧をお願いした。

(2) 外出・移動支援について

藤富 日常生活における外出の公共交通については、まだまだ充実しておらず、不便を感じている方がたくさんおられるのが実情である。葛城市の社会福祉協議会では、「生活支援体制整備事業」として、移動外出支援を行っている。

五條市でも今後取り組んでいくとのことだが、この事業内容について、どのようなサービスを行うのか。

あんしん福祉部長 支援を必要とする高齢者が増加する中、病院や買い物などの外出支援、ゴミ出しや草引きなど、地域での困りごとを話し合い、解決方法を模索する体制づくりを進めるものである。

本市においても、「生活支援体制整備事業」を五條市社会福祉協議会に委託し、移動手段の問題など、地域での困りごとを解決できる

体制づくりに取り組んでいくところである。令和7年度に向けて、移動サービス等の立ち上げに取り組んでいく予定と報告を受けている。



藤富 市民の移動手段については、バスやタクシー等の公共交通だけでは対応しきれないところを、このような「生活支援体制整備事業」での移動、外出支援が実現すれば、病院や買い物にも家の玄関から目的地までドア・ツー・ドアで行けるため、高齢者の方にとっては大変便利な生活支援になる。

その他の一般質問

◆給食について



五條市内で利用できる
買物支援サービス実施店一覧



令和7年3月

Q: 防災拠点の案が県から示された

A: 市としてもしっかりと要望してまいりたい。



仲山 嘉議員

防災拠点の見直しについて

仲山 令和7年2月17日に、奈良県災害応急対策（防災拠点）基本構想に関する地元説明会が開催され、五條市内の県有地を奈良県の防災における南部中核拠点とし、先行整備を行って供用開始する案や、県消防学校が県有地に移転するという案が示された。消防学校について、施設の内容、五條市がその施設について要望等できるのか、今分かっている範囲で伺う。

危機管理監 消防学校の移転については山下知事が公表したところであるが、施設の内容や県有地内の建設場所、五條市が要望できるかどうか等の詳細については、現在では何も分かってない状況である。

仲山 県のプロジェクトが五條市で実施されることについて、市長の考えを伺う。

市長 アクセス道路の整備、消防学校への交通網

の整備、JR新駅の構想に、全庁的に取り組んでまいりたい。また、阪合部地区ということは決まっていらないが、自衛隊が整備されれば、五條市は災害にもものすごく強いまちとなる。今後も、県と連携し、地元の方々の意見を大切に、市としてもしっかりと要望してまいりたい。

表紙を飾っていただく写真を募集しています

五條市内の風景や行事等、応募者のオリジナル作品に、作品名、撮影場所、お名前、ご連絡先をご記入の上応募願います。

【応募方法】

- ☆郵送・持参の場合は画像データでお願いします。
- ☆電子メールの場合は、下記アドレスへ送信願います。
- ※ご応募いただいた写真は返却いたしません。また、謝礼もございません。
- ※掲載写真の著作権は作者にあり、使用権は五條市に帰属するものといたします。

☆電子メールの場合は gojoshi-gikai@kcn.jp

奈良県広域消防組合議会の報告（概要）

去る2月27日、午後2時から奈良県広域消防組合消防本部において開催されました、令和7年奈良県広域消防組合議会第1回定例会の概要を報告いたします。

会議では、初めに議長の会議成立宣言の後、管理者の亀田檀原市長から議会招集の挨拶がありました。

日程に入り、会議録署名議員の指名に続き、会期を2月27日の1日限りとすることが決定しました。

次に、一般質問があり、「署員の懲戒処分基準」及び「市町村分担金の割合算定項目」について質問がありました。

続いて、議案審議に入り、最初に、「権利の放棄の専決処分の報告」がありました。

次に、「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例」、「奈良県広域消防組合の一般職の任期付職員採用及び給与の特例に関する条例の一部改正」、「奈良県広域消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」及び「奈良県広域消防組合の一般職の職員の退職手当に関する条例

の一部を改正する条例」については、質疑はなく、「令和6年度奈良県広域消防組合一般会計補正予算（第2号）」及び「令和6年度奈良県広域消防組合一般会計補正予算（第3号）」については、

「分担金減額分の取扱」について質疑があり、討論はなく、採決の結果、それぞれ原案のとおり可決されました。

次に、「令和7年度奈良県広域消防組合一般会計予算」については、「施設整備基金」、「地域手当」及び「物価高騰の対応」について質問があり、「工事請負契約の締結」については、「事業における起債の扱い」については質疑があり、「財産の取得」については、質疑及び討論はなく、採決の結果、原案のとおり可決されました。

次に、「奈良県広域消防組合公平委員会委員の選任につき同意を求めること」については、質疑及び討論はなく、採決の結果、原案のとおり同意されました。

最後に、議会運営委員会から閉会中の継続審査の申入れがあり承認され、閉会いたしました。



こ こ が 聞 き た い 一 般 質 問

Q：地域公共交通を利用して二見方面へ向かう 東西の移動について

A：現在はゴーちゃんタクシーの1コースのみ。
令和7年度からの改善に取り組む。

谷 勝啓議員



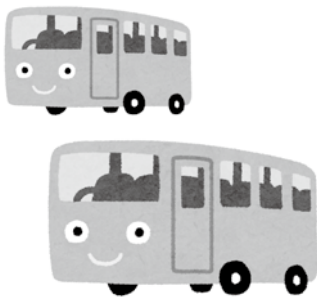
地域公共交通について
イオンが2月末で休業
することによる、オー
クワ等へ買い物に行く
ための東西移動におけ
る公共交通について

谷 イオン五條店周辺にお
住まいの方から相談を受け
た。今まで歩いてイオンへ
買い物に行っていた方が、
イオン五條店の閉店後の買
い物について、どこにどの
ように行ったらよいか。オ
ークワ五條店へ行く場合、
二見方面に向けてバスが運
行していない。公共交通機
関を使ってどのように行け
ばよいか。

総務部長 現在、五條バス
センターからオークワ五條
店のある二見方面に向け
ては、バスは運行してい
ない。
谷 オークワに向けて利用
できるゴーちゃんタクシ
ーは1コースのみか。

総務部長 五條バスセン
ターからオークワ五條店に
向けて利用できるゴーちゃん
タクシーは、二見方面コ

スの1コースのみである。
谷 改善してくれるのは令
和7年度では遅い、イオン
はもう2月で閉店している。
こんな問題が出るのは前か
ら分かっていて。私も、総
務管財課へ何回も言いに行
った。高齢者の運転免許証
返納を国が進めているのに、
返納したら公共交通で買い
物にも行けないということ
は矛盾している。イオンが
建て替わるのには、早くて
も3年はおかると聞いている。
行政がお金を出して、
収支マイナスイでも路線を作
るべきと考える。五條バス
センターからバスが出て、
五條駅、オークワ、大和二
見駅、シダーアリーナを経
由して、買い物物行つて戻
れる、東西のルートを作っ
てください。



南和広域医療企業団議会の

報告（概要）



去る2月27日、午後2時から南奈良総合医療セン
ターにおいて開催されました、南和広域医療企業団
議会令和7年第1回定例会の概要を報告いたします。
本会議では、初めに、杉山企業長から議会招集の
挨拶があり、議長から開会宣告・開議宣告・議席の
指定及び会議録署名議員の指名の後、本定例会の会
期を1日とすることが決定されました。

また、新たに南和広域医療企業団議会の議員に選
出された議員が総務委員会委員へ選任され、委員長
に天川村の銭谷議員が選出されました。

次に、議案審議に入り、「令和7年度南和広域医
療企業団病院事業会計予算」、「南和広域医療企業
団職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条
例」、「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う
関係条例の整備に関する条例」、「南和広域医療企
業団病院事業料金徴収条例の一部を改正する条例」、
「南和広域医療企業団監査委員の選任につき同意を
求めること」の5議案については、総務委員会に付
託され、各議案とも原案どおり可決・同意すること
に決しました。

その後、本会議が再開され、5議案について採決
を行い、それぞれ原案のとおり可決・同意されまし
た。

最後に、総務委員会からの議会閉会中の継続審査
事項についての申出が可決され、本会議は閉会いた
しました。